

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	こども医療費支給事務				継続					
コード	39	-	23	-	02	-	00	予算事業名	こども医療費支給	
担当部署	保健医療部	医療助成課		福祉医療担当		予算事業コード	会計 10	款 03	項 02	目 01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	1章	ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市こども医療費支給に関する条例、乳幼児医療費支給事業補助金交付要綱(県)
方向性(節)	1節	だれもが幸せに地域で暮らせるまちづくり	個別計画等の名称	かわごえ子育てプラン 川越市障害者支援計画
施策	1	児童福祉の推進		
細施策	2	親への支援体制の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	こどもの保護者(市民)を対象に、こどもの医療費のうち保険診療による自己負担金を支給し、こどもの保健の向上と福祉の増進を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	こどもの小学校3年生までの通院、中学校卒業までの入院に係る医療費のうち、保険診療による自己負担金を支給する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		547,838	522,332	691,919	830,618	965,797	
事業費	A	538,067	497,391	661,845	793,328	965,797	1,177,275
	B	14,980	16,460	21,640	21,640	21,640	21,180
総コスト(C=A+B)		553,047	513,851	683,485	814,968	987,437	1,198,455
正規職員(1年間の従事人数)		1.90人	2.10人	2.80人	2.80人	2.80人	2.80人
臨時職員(1年間の従事人数)		1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	0.50人
国県支出金	D	100,938	91,580	103,092	108,331	144,746	144,746
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		452,109	422,271	580,393	706,637	842,691	1,053,709

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	受給者数	人	44,686	44,776	45,054	45,169	1年間の平均受給者数
活動	支給件数	件	301,391	290,709	374,630	448,135	1年間の支給件数
活動	支給額	千円	502,687	463,094	614,354	744,681	1年間の支給額
中心指標の考え方		本事業は、活動指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		支給件数・支給額が年々増加しているが、通院助成について平成22年7月から、小学校就学前から現行の小学校3年生までに拡大をしたためである。また、今年度も通院助成について10月から、小学校6年生までの拡大を実施する。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	必要性に課題
各市町村によって対象年齢に差があるため、さらなる事業の拡大を求める要望が多い。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
平成24年4月現在、県内市町村で通院助成について小学校6年生までの助成を行っているのが7市、中学校3年生までの助成を行っているのが43市町村になる。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
子育て家庭の医療費の負担が増加し、こどもの保健の向上と福祉の増進が損なわれる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
安心して子育てのできる環境を整え、親の負担を軽減するために、必要とする医療の支援は継続する必要がある。	